

イントロダクション

AI画像認識12.6fps! スマホや
一昔前のPCと同等レベルに到達

ご購入はこちら

4年ぶりの
バージョン・
アップ!

スペックからひも解く… ラズパイ5の良い点・悪い点

森岡 澄夫

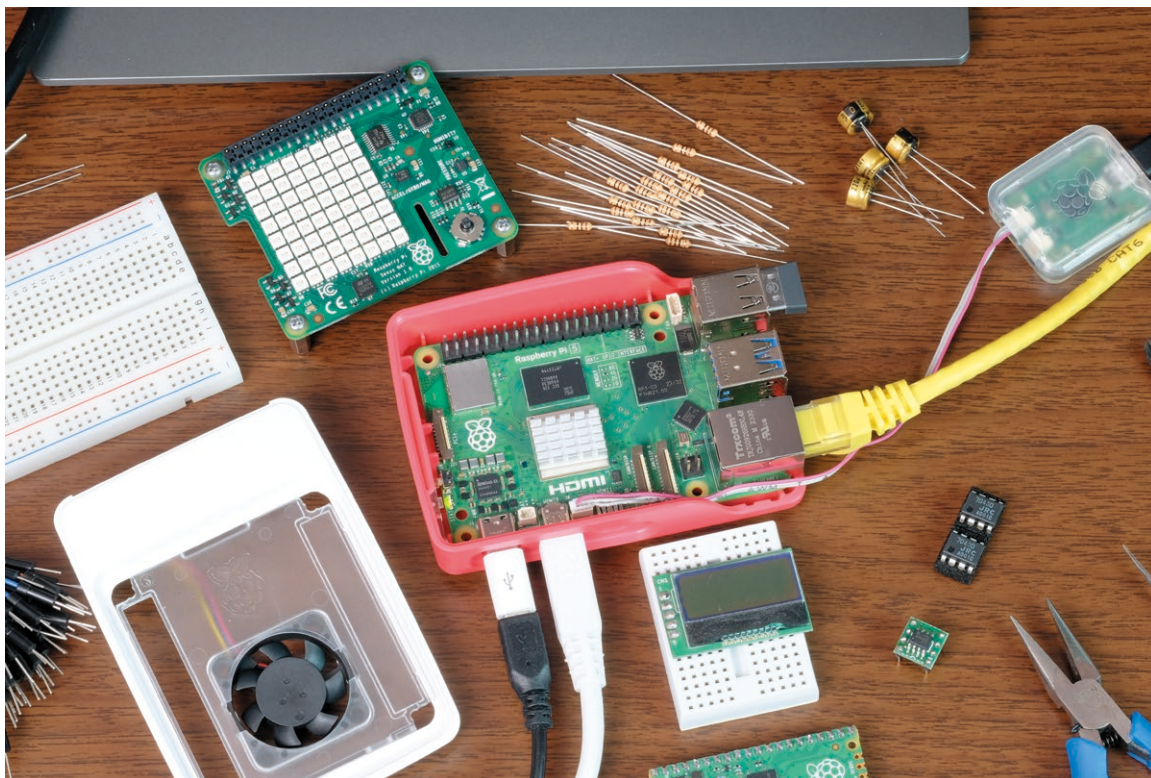


写真1 ラズベリー・パイが4年ぶりのバージョン・アップ! 従来比2倍の高性能を持つ「ラズベリー・パイ5」
実アプリケーションでの処理性能が劇的に向上して高機能コンピュータ・ボードとしては実用域に到達した

● 4年ぶりのバージョン・アップ

2023年10月にラズベリー・パイ5が登場しました(写真1)。ラズベリー・パイが初めて登場したのは2012年2月です[写真2(a)]。そこから2~3年ごとにメジャーなバージョン・アップが行われ、ラズベリー・パイ2[写真2(b)]やラズベリー・パイ3[写真2(c)]が登場しました。

しかし、ラズベリー・パイ4[写真2(d)]からラズベリー・パイ5へのバージョン・アップには約4年もの間隔が開きました。2021~2023年頃の世界的な半導体供給不足の影響が大きかったようです。長期間待たされただけに、ラズベリー・パイ5がどのような物に仕上がったのかは、大変興味深いところです。

● スマホや一昔前のPCと同レベルの性能まで到達

端的に言うと、マイコンによく載っているハードウェア・インターフェースを併せ持つスマートフォンと捉えるのがよいと思います。十数万円するようなハイエンドなスマートフォンほどの性能はありませんが、CPUコア数(Cortex-A76×4コア)、メイン・メモリ容量(4Gないし8Gバイト)などの数値は、普及価格帯のスマートフォンとほぼ同等です。

初代ラズベリー・パイの頃は、高級マイコンくらいの位置づけでしたが、今ではマイコン・ボード(ArduinoやESP32など)とは性能も機能も著しく異なります。2~3年前のPCくらいの性能はあります。